



2024年12月9日

各位

会社名 泉州電業株式会社
代表者名 代表取締役社長 西村 元秀
(コード番号：9824 東証プライム)
問合せ先
専務取締役兼執行役員管理本部長 成田 和人
(TEL 06-6384-1101)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年12月9日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 現状評価

当社は2017年11月の東京証券取引所市場第一部へ上場以来、業績の向上に取り組んでまいりました。

その結果、

① 効率的な経営 (2024年10月期：ROE14.4%)

中期経営計画で定めた目標のROE10%以上、社内で算出した資本コスト(8%~9%で認識)を上回るROEの結果となりました。

② 株価 (1,259円(2017年11月1日) → 5,130円、PBR 1.62倍(2024年10月31日))

IR活動を積極的に行ったことや業績の向上等をご評価いただいたことで株価は順調に上昇し、PBRも1倍を超える結果となりました。

また、ストック・オプション、譲渡制限付株式の発行等、株価を意識した経営をより行っております。

③ 株主還元 (2024年10月期：株主総還元率48.0%)

- ・11年連続の増配
- ・自己株取得累計：243万株、74億円

と積極的な株主還元を行ってまいりました。

	2017年10月期	2018年10月期	2019年10月期	2020年10月期	2021年10月期	2022年10月期	2023年10月期	2024年10月期
売上高(百万円)	74,956	82,038	83,676	74,288	92,463	113,633	124,967	136,153
営業利益(百万円)	3,202	3,868	3,979	3,124	4,743	7,464	8,366	10,349
経常利益(百万円)	3,455	4,105	4,206	3,382	5,004	7,894	8,770	10,761
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,289	2,371	2,714	2,351	3,583	5,314	5,920	7,578
営業利益率	4.3%	4.7%	4.8%	4.2%	5.1%	6.6%	6.7%	7.6%
自己資本比率	58.0%	56.8%	57.7%	59.8%	50.9%	48.4%	49.7%	49.1%
ROE	6.4%	6.3%	7.0%	5.9%	8.6%	12.0%	12.3%	14.4%
期末株価*	1,255円	1,304円	1,425円	1,446円	2,382円	2,696円	3,085円	5,130円
1株当たりの純資産額*	1,830.83円	1,921.82円	2,047.40円	2,147.90円	2,342.59円	2,578.24円	2,843.95円	3,165.42円
PBR	0.69倍	0.68倍	0.70倍	0.67倍	1.02倍	1.05倍	1.08倍	1.62倍
年間配当	45円	55円	70円	70円	90円	140円	110円	130円
配当性向	19.9%	23.3%	25.3%	28.3%	23.2%	23.8%	33.0%	30.1%
株主総還元率	19.9%	43.1%	55.4%	70.7%	50.9%	43.0%	45.3%	48.0%

2017年11月 東京証券取引所市場第一部へ上場

2022年4月 東京証券取引所プライム市場へ上場

*2022年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、期末株価及び1株当たりの純資産額の2021年10月期以前の数値は1/2で表示しております。

2. 今後の方針、目標

現状を踏まえ、更なる事業の発展を目指し、本日発表いたしました中計経営計画（2025年10月期～2027年10月期）では下記の項目に関し、新たに目標値を設定し取り組み、企業価値の向上を図ってまいります。

- ① ROE : 15%以上
- ② 配当性向 : 35%以上
- ③ 株主総還元率 : 50%以上
- ④ PBR : 2.0倍以上

3. 今後の取り組み

(1) 収益力の更なる向上【ROE】

更なる収益の向上を目指して下記の事項に取り組み企業価値の向上を図ってまいります。

- ① 当社グループの存在意義(パーパス)を改めて認識し事業活動を行います。

泉州電業グループパーパス

「社会に必要な重要なインフラ製品を責任を持って供給する」

- ② 人員の確保、人材の育成に経営資源を投入し社員の更なる成長を図ります。
- ③ 多彩なユーザーニーズに応えるため、事業所の拡充を進めます。
- ④ 事業の拡充を図るためM&Aなどを活用します。
- ⑤ DXを推進し経営の効率化を図ります。

(2) 株主還元の充実【配当性向、株主総還元率】

株主への利益還元は重要な経営課題としており、従来の安定的な配当を維持すること基本方針とし、業績、内部留保の総合的に判断しておりますが、今回、それらを係数で表すため、配当性向、株主総還元率を設定し株主還元の充実に努めてまいります。

(3) IR(投資家)、SR(株主)活動の強化【PBR】

当社に投資したい人を増加させるため積極的なIR活動を行ってまいります。

また、既存株主には株主還元をしっかりと行い、長く保有していただくため、SR活動にも注力してまいります。

以 上